

令和 8 年度 第 1 8 期定期総会

日時 令和 8 年 7 月 7 日（火）
18 : 30 ～ 19 : 30
リモート開催

一般社団法人みつばち協会

令和8年度 一般社団法人みつばち協会定期総会

次 第

1. 開 会

2. 代表理事挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

- ・第1号議案 令和7年度活動報告について
- ・第2号議案 令和7年度会計収支報告について
- ・第3号議案 令和8年度活動計画（案）について
- ・第4号議案 令和8年度会計収支予算（案）について
- ・第5号議案 令和8年度役員について

令和8年年度の役員

理事	高安	和夫
理事	新垣	伝
理事	春日	住夫
理事	村上	幸枝
理事	梶山	正信
理事	高安	さやか
理事	中村	礼香
監事	肥沼	位昌

退任理事

理事	吉田	倫子
----	----	----

5. その他の事項

6. 閉 会

令和 8 年 7 月 7 日
一般社団法人みつばち協会

令和 7 年度 活動報告書

令和 7 年度は、「会員の学びと交流の機会を提供すること」を基本方針として、勉強会、養蜂 GAP 講習会、シンポジウム、総会、イベント出展等を実施しました。年間を通じて、会員および関係者が学び合い、情報を共有し、養蜂に関する理解を深める機会づくりに取り組み、合計 27 事業を実施しました。

1. 会員向け勉強会の実施

会員向け勉強会を 15 回開催しました。

「ミツバチと農薬」「儲かる養蜂勉強会」「はちみつと口臭」「みつばちと古代史」「春の蜜源」「花粉交配とみつばち」「ラオスの養蜂」「養蚕」「地域の養蜂事例紹介」「やさしい養蜂」「買い手から見た選ばれる蜂蜜の基準」など、多様なテーマを取り上げました。

オンライン開催を活用することで、地域を問わず参加しやすい学びの場を提供し、会員同士の継続的な交流にもつなげました。

2. 養蜂 GAP 講習会の実施

安全で持続可能な養蜂の実現に向け、養蜂 GAP 講習会を 4 回実施しました。

沖縄、兵庫県洲本市、広島県廿日市市、ミツバチサミット会場内等で講習会を行い、衛生管理、記録管理、リスク管理など、養蜂現場に必要な基礎的な考え方の普及に取り組みました。

3. シンポジウムの開催

研究者、行政、養蜂家、関係団体等がつながり、知見を共有する場として、シンポジウムを 3 回開催しました。

京都、宮城、東京において、ミツバチと自然との共生、地域における養蜂の課題、持続可能な養蜂のあり方等について意見交換を行いました。

4. 総会の開催

令和 7 年度総会をオンラインで開催し、会員の皆さまと活動内容の共有を行いました。

協会の活動状況や今後の方向性について確認し、会員との情報共有の機会としまし

た。

5. イベント出展・普及啓発活動

イベント出展を通じて、みつばち協会の活動や養蜂の魅力について広く発信しました。一般の方に対しても、ミツバチや養蜂、はちみつに関する理解を深めていただく機会となりました。

6. 令和7年度活動のまとめ

令和7年度は、勉強会、講習会、シンポジウム、イベント出展等を通じて、会員の学びと交流を支える場づくりを進めました。

今後も、会員および関係機関と連携しながら、安全で持続可能な養蜂の発展に寄与する活動を継続してまいります。

No.	日付	区分	イベント名	備考
1	2025/4/15	勉強会	ミツバチと農薬	リモート
2	2025/4/21	勉強会	儲かる養蜂勉強会	講師：梶山正信氏
3	2025/5/8	勉強会	「はちみつと口臭」	みつばち協会勉強会 リモート
4	2025/5/26	勉強会	みつばちと古代史	リモート
5	2025/6/3	総会	みつばち協会総会	リモート
6	2025/6/10	勉強会	春の蜜源	西村様関連 リモート
7	2025/7/1	勉強会	花粉交配とみつばち	講師：浅田先生
8	2025/7/14	勉強会	儲かる養蜂勉強会 第2回	リモート
9	2025/7/28	勉強会	ラオスの養蜂	リモート
10	2025/8/4	勉強会	夏休み企画「養蚕」	リモート
11	2025/9/19	養蜂 GAP 講習会	〈沖縄〉	あやかりの杜
12	2025/10/1	勉強会	ワタリスさん養蜂事例紹介	リモート
13	2025/10/2～4	イベント	オーガニックライフスタイルEXPO出展	
14	2025/10/17	ミツバチシンポジウム	in 京都 2025	
15	2025/10/21	ミツバチシンポジウム	in 宮城 2025	
16	2025/11/4	勉強会	神石高原の事例紹介	リモート
17	2025/11/10	勉強会	萩石見空港事例紹介	リモート
18	2025/11/23	養蜂 GAP 全国講習会	in ミツバチサミット2026	
19	2026/1/13	勉強会	やさしい養蜂	リモート
20	2026/2/7	養蜂 GAP 講習会とニホンミツバチ交流会	洲本市	
21	2026/2/9	勉強会	そのままハニー事業紹介	リモート

22	2026/2/14	養蜂 GAP 広島養蜂 GAP 講習会 廿日市市
23	2026/2/21	ミツバチシンポジウム 2026 中央区立環境情報センター
24	2026/3/11	イベント FOODEX2026 出展 東京ビッグサイト
25	2026/3/17	勉強会 買い手から見た「選ばれる蜂蜜」の基準とは
26	2026/3/23	勉強会 日本蜜蜂は在来種か リモート
27	2026/3/28	イベント ミードフェスタ出展 出展関連

会員勉強会：15 回、養蜂 GAP 講習会：4 回、シンポジウム：3 回、総会：1 回、イベント出展：3 回 **合計 27 事業**

以上、報告いたします。

令和7年度 第17期 会計収支報告書

令和7年 4月 1日 から 令和8年 3月 31日まで

一般社団法人 みつばち協会

(単位：円)

科 目	金 額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金・年会費収入	520,000		
賛助会員収入	0	520,000	
2 事業収入			
①養蜂技術振興事業収入	2,183,500		
3 助成金事業	41,686,875		
4 雑収入	240,000	44,110,375	
経常収入合計			44,630,375
II 経常支出の部			
1 事業費			
①養蜂技術振興事業	1,461,855		
②助成金事業	41,686,875	43,148,730	
2 管理費			
給料手当	0		
諸報酬	0		
事務所等使用料	726,000		
事務機器賃借等	202,626		
事務用品費	34,010		
賃借料	209,640		
会議費			
旅費交通費			
保険料			
通信運搬費	91,487		
印刷製本費	0		
減価償却費	0		
諸会費	51,540		
雑費	78,016		
租税公課	81,700	1,475,019	
経常支出合計			44,623,749
経常収支差額			6,626
当期収支差額			6,626
前期繰越収支差額			270,099
次期繰越収支差額			276,725

令和7年度17期 財産目録

令和8年3月31日現在

一般社団法人みつばち協会

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	31,089		
現金	4,713,784		
普通預金			
未収金	484,000		
流 動 資 産 合 計		5,228,873	
2 固定資産			
土地			
建物			
工具器具備品	0		
.....	0		
固 定 資 産 合 計	0		
資 産 合 計			5,228,873
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	67,000		
未払金	687,437		
預り金	243,008		
前受金	3,954,703		
仮受金			
流 動 負 債 合 計		4,952,148	
2 固定負債			
固 定 負 債 合 計		0	
	0		
負 債 合 計			4,952,148
正味財産			276,725

令和 7 年度17期 貸借対照表

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

一般社団法人みつばち協会

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,744,873		
未収入金	484,000		
仮払金		5,228,873	
流 動 資 産 合 計			
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
車両運搬具	0		
.....			
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			5,228,873
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	67,000		
預り金	243,008		
未払金	687,437		
前受金	3,954,703	4,952,148	
仮受金			
流 動 負 債 合 計			
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金		0	
.....			
固 定 負 債 合 計			
負 債 合 計			4,952,148
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		270,099	
当期正味財産増減額		6,626	
正味財産合計			276,725
負債及び正味財産合計			276,725

監 査 報 告 書

一般社団法人みつばち協会の定款に基づき、令和7年度17期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の収支決算について、関係帳簿及び書類を監査したところ、いずれも適正であり、報告書のとおり相違ないことを認めます。

令和8年 6月 29日

一般社団法人みつばち協会

監 事 肥沼位昌 

令和 8 年 7 月 7 日
一般社団法人みつばち協会

令和 8 年度 活動計画書

- 令和 8 年度は、「現場の知恵を次世代へ」を基本方針として、これまでの調査・講習・交流の成果を、手引書の作成、講習会、現地検討会、シンポジウム、情報発信等に反映していきます。
- 会員、養蜂家、研究者、行政、関係機関と連携しながら、安全で持続可能な養蜂の発展と、次世代につながる養蜂の未来づくりを目指します。

1. ニホンミツバチ手引書の作成・普及

ニホンミツバチ飼育に関する調査結果や現場の知見を整理し、手引書の作成を進めます。

完成後は、講習会や勉強会等を通じて広く普及し、初心者から地域の指導的立場の方まで活用できる資料となることを目指します。

2. 養蜂 GAP の普及

養蜂 GAP の普及に向け、講習会や検討会を開催します。

認証および指導体制の拡充を図るとともに、衛生管理、記録管理、リスク管理の重要性を伝え、安全で安心な養蜂の実現に取り組みます。

3. 会員向け勉強会の充実

会員の学びの場として、年間を通じて勉強会を開催します。

ミツバチ、蜜源、病虫害対策、地域事例、販売、行政との連携など、多様なテーマを取り上げ、オンライン・対面を組み合わせながら継続的に学べる機会を提供します。

4. 現地検討会の実施

地域ごとの課題解決に向け、現地検討会を実施します。

実際の飼育現場を見ながら、飼育方法、病虫害対策、衛生管理、地域における課題等について意見交換を行い、会員同士の交流と実践的な学びにつなげます。

8 月 30 日（日）沖縄講習会

10 月 31 日（土）ミツバチシンポジウム in 富谷

11月6日（金）ミツバチシンポジウム in 京都

5. シンポジウムの開催

研究者、行政、養蜂家、関係団体等が集まり、最新の知見を共有する場としてシンポジウムを開催します。

持続可能な養蜂、地域におけるミツバチとの共生、ニホンミツバチ飼育の課題などについて情報共有を行い、ネットワークの強化を図ります。

12月12日（土）「ミツバチシンポジウム in 熊野」 開催

6. 情報発信の強化

ホームページ、SNS、LINE 等を活用し、協会の活動や養蜂に関する正確で役立つ情報をわかりやすく発信します。

会員向けの情報共有に加え、一般の方にもミツバチや養蜂への理解を深めていただけるよう、発信内容の充実に努めます。

7. 令和8年度活動のまとめ

令和8年度は、これまで蓄積してきた現場の知恵や調査成果を、次世代につながる形で整理・共有していく年度と位置づけます。

会員および関係機関と連携しながら、学び合い、つながり、育て、未来へつなぐ活動を進めてまいります。

以上のとおり計画いたします。

令和8年度 第18期会計収支予算書

令和8年 4月 1日 から 令和9年 3月 31日まで

一般社団法人 みつばち協会

(単位：円)

科 目	金 額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	500,000		
入会金・年会費収入			
賛助会員収入	0	500,000	
2 事業収入			
①養蜂技術振興事業収入	2,000,000		
②業務受託費	120,000		
3 助成金事業	46,774,000		
4 雑収入	240,000	49,134,000	
経常収入合計			49,634,000
II 経常支出の部			
1 事業費			
①養蜂技術振興事業	1,400,000		
②助成金事業	46,774,000	48,174,000	
2 管理費			
給料手当	0		
諸報酬	0		
事務所使用料	726,000		
事務機器賃借等	210,000		
事務用品費	30,000		
賃借料	30,000		
会議費	20,000		
旅費交通費	50,000		
保険料	0		
通信運搬費	165,000		
印刷製本費	0		
減価償却費	0		
諸会費	60,000		
雑費	89,000		
租税公課	80,000	1,460,000	
経常支出合計			49,634,000
経常収支差額			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			276,725
次期繰越収支差額			276,725